

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
栗崎部会長	<p>開催日時 平成27年5月27日(水)18:30～20:10 健診ホール 出席者 栗崎部会長、佐久間副部会長、加藤、志布、疋田、池野本、川越、佐々木委員 説明員 平井総務部長、田村総務主幹、露口まちづくり主幹 事務局 小澤、大江</p> <p>テーマ < 2 交通安全 ></p> <p>砂川市の事故や地元の事故に結構興味があると思うが、興味で終わらないでほしい。 自転車のルールが普通今自動車並みになります。14項目もあるようですが、まだまだ本当はある。我々年配は、人の通行は右、車は左。自転車は人として扱うように習ってきたが、自転車は車であるということです。 小学生、中学生は14歳以下ですからまだ警告で済みますが、それ以上の年齢になれば、反則制度もありますので、その辺を含めながら、皆さんの意見をお伺いしたい。</p>
浅野主査	資料説明
川原主幹	資料説明
栗崎部会長	<p>説明を聞いて、補足充実させていきたい。何かございますか。 最近ガードレールの破損が特に目立つのは、雪が多かったせいなのか。</p>
川原主幹	<p>今年の春はガードレール等の破損が非常に多い。役場直営で直せる物は随時修繕しており、破壊されている物は交換となるため、特に危険であるところは応急手当をするように指示している。</p>
栗崎部会長	<p>最近自転車のルールが変わると言っているが、手信号を見たことがありますか。停止するのかわからないのははっきりしないのが怖い。手信号をして居るのを私は見たことがない。学校教育で手信号を取り入れてはどうか。</p>
浅野主査	<p>交通教室で教えてはいるが、基本的に手放し運転は危険であり、教室でも無理をして手信号をしなくて欲しいと教えている。</p>
栗崎部会長	<p>年配の方に自転車のルールを教えても、なかなか覚えられない。</p>
志布委員	<p>年配の方で左車線を逆走している自転車がいて危ないと思った。誰が正しい運転を教えてくれるんだろうかと思っていた。</p> <p>車道を走らないと行けないと認識しているが、歩道を走ってもらった方が安全と思う。</p>
加藤委員	<p>私もそう思う。車につられて寄ってくる事がある。</p>
栗崎部会長	<p>65歳以上であれば歩道を走っても良いはず。</p>

言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
浅野主査	13歳以下と65歳以上が歩道を走っても良い。北海道は歩道が広く、かえって車道の方が危ないとの理由で、道警の方も歩道を走っても良いと言っている。もちろん歩行者が優先であるが。
志布委員	やっぱりマナーが大切と言うこと。歩行者が居るときには降りるなど配慮すべき。
栗崎部会長	子どもは親がしっかりルールを教えて守らなくてはならない。また、子どもを守るには町全体をあげてやるしかないと思う。
志布委員	親がついていても危ないと思うことがあった。
栗崎部会長	親もルールを知らない事がある。
浅野主査	今お話し頂いたことも含めて、計画の中にある、各自治会や学校などに教育していく。
栗崎部会長	これからも町をあげて、子供も老人ばかりではなくて、私たちも真剣に交通安全に取り組むという事で結論になってしまうと思うが、どうでしょうか。
佐久間委員	資料の中身は1回目で皆さんの意見が反映されている内容で、2回目で1回目議会において漏れた意見は盛り込まなければならないと思うが、まちづくり白書は全然、この場合で議論していないと思う。まちづくり白書の中では、ここにいない年代から、問題について御意見等を受けているので、それを全部入れるということでは無く、この中から計画に盛り込む意見があるかどうか、そういった議論をした方が良いと思うが。 折角これだけの意見をとったので、この中で意見が反映で来るだとか、反映できない等。小・中学生や子育て中のお母さんなど、拾うべき意見が、この部会で出てこない意見があるかもしれない。ないのであればそれでも良いので。
栗崎部会長	そうですね。 ただ、交通安全の関係で言えば皆さんがだした意見で良いと思うが。
池野本委員	質問よろしいでしょうか。危険箇所の交通安全対策について、町道、道道、国道と管轄が違うと思うが、道道、国道は直接役場に相談して良いのか。
川原主幹	地域の要望等は担当所管に役場からお伝えしている。
浅野主査	自治会、住民から連絡を受けたら、担当と警察、必要な機関が立会で現場検証をして、必要であれば文章で公安に提出します。予算の関係があるので要求がすぐ通らないこともあるが、要望はします。
栗崎部会長	交通に関してはこれで良いと思いますが。
浅野主査	お話し頂いた分については計画に盛り込まれていると思いますので、後よろしければ次へ移りたいと思いますが、よろしいですか。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
<p>浅野主査</p>	<p>テーマ < 4 公共交通 ></p> <p>配布資料をもとに ・新しい計画の内容～</p> <p>鉄道の充実確保としては、JRは直接自治体と協議はしていないが、沿線自治体を含めて協議をする場、それを含めてJR北海道に要望していく。観光産業も含めた利用の促進に努めていく。赤字路線の改善は難しいが、鉄道は必要なので利用促進を自治体としては努力していきたい。JR石北線の高速度及び利便性の向上とありますが、北海道新幹線の影響はこちらまで来ないが、整備も合わせ広く北海道全体として情報交換、協議をしながらJR北海道に要望していく。こちらの地域にサービスの減少という事があり、駅の無人化などが検討されている。路線を確保していく為に経費を削減していくという方向に向かいそうな部分があるので沿線自治体や利用者も含め要望していきたいという事で計画に載せていかなければならない。</p> <p>バス路線の充実のバス路線の運行検証と利用の促進では、本格運行して3年経つが、ある程度、今の運行形態の検証をしながら交通弱者の足の確保と公平性、公共性の確保による利便性を高める。全てがワンコインバスで賄えるものではないが乗合タクシーや町内のタクシーを含めた交通体系を整えながら、高齢者の免許の自主返納も合わせて足の確保をしていくために交通手段の支援をしていく、という事で計画に盛り込んだ。</p> <p>町所有バス、混乗スクールバスの効率的運用では、以前福祉バスの運行を廃止した関係があるが、混乗スクールバスは農村地域の方に浸透していない部分があるのでのわかりやすい周知、利便性を高め効率的な運用に努めていきたい。使用しているバスも老朽化しているので年次的な更新、整備を進めていきたい。</p> <p>乗合タクシーの利用促進では、利用料金や無料回数券を発行しているが公平性を確保するという事で、無料券を使える地域と使えない地域があったりするのでニーズに応じた運行経路や乗降場所も決められていたので一部スーパーで乗れるよう配慮し喜ばれている。こういった利便性の向上に今後も努めていきたい。</p> <p>交通網形成における協議・検討、地域戦略における交通体系の構築では、美幌はコンパクトシティで中心市街地に集約されているが町全体としての交通体系の見直し、検討をしながら地域の実情に即した公共交通を目指して行きたい。</p>
<p>辻主査</p>	<p>・計画の検証～女満別空港の利便性の向上について説明。</p>
<p>栗崎部会長</p>	<p>美幌駅経由の女満別空港から美幌峠のバスは毎日走っているのか？</p>
<p>辻主査</p>	<p>期間限定で確定ではないが7月18日から10月12日まで一日2便を予定している。美幌峠で連結する。</p>
<p>栗崎部会長</p>	<p>町民が空港に行く利便性ではない。観光が狙いなのか？</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
辻主査	一日2便なので町民には不便だと思う。時間が合わなければ使えない。
浅野主査	空港アクセスには色々な意見があるが、どれだけの利用があるか。網走バスは2便空港経由で美幌駅までの便があるがほとんど利用されていない。北見バスも乗り場が遠く使いにくい。利便性が悪いという意見がある。自家用車の方が便利だろうが、そこも含め検討していく。
池野本委員	美幌駅経由の女満別空港から美幌峠のバスのターゲットは誰か？
辻主査	ターゲットは観光客。朝一の便に合わせている。
池野本委員	朝一に合わせた根拠は？
辻主査	朝一の便は観光時間も長く観光客が一番多いのでその時間に合わせた。
浅野主査	交通手段が少ないや不便だと言う意見もあるが、他から来た方は空港も近く国道もありJRもバスも走っているのですごく便利だという意見もある。地域公共交通を充実させるには町の負担も増える。高齢者の方、全てを無料にするのか、負担をしてもらうのか、なども考えていかなければならない。利便性の向上を図るために検討し取り組んでいく。
栗崎部会長	他に意見はありますか。 ～意義なし～ <テーマ7 消防、救急 >
小南次長	配布資料をもとに ・現状の説明～ ・基本的な考え方について説明～ ・新しい計画の内容について説明～ 通信指令施設とあわせデジタル無線設備の更新等維持管理では、消防通信指令施設とデジタル無線の更新はすでに終了している。今後、維持管理は非常に大切でこれに関する維持管理、メンテナンスにかかる経費等にかかるが少しずつ古いものを更新していくという事で新しく掲載した。 住宅用火災報知器は現在81.8%の設置率。もちろん100%を目指している。制度開始から8年経過し今後は電池切れなどの広報活動も進めていくので継続して掲載させて頂きたい。 消防には外郭団体が4つあり、そこの方々と連携して火災予防運動等を通じ、消防弱者を中心とした防火指導、防火訪問などを実施して今後とも火災による死者の絶滅を目指していきたい。 新規事業のとなる消防団員の安全装備品の計画的整備では、火災活動用の防火衣などは去年予算を貰って整備した。今後とも消防団の装備の基準という事で、国から示されたものについて徐々に整備し、やりがいのある消防団を目指していきたい。 救急体制の強化という事で、現在3台で救急車の運用をしている。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
(引き続き) 小南次長	<p>そのうち1台が2B型といって古いものになる。新年度は2B型を高規格のものに変更したいが、まずは整備に全力を尽くす。救急車両は平均7～8年が限度であり、今後10年間にもう1台更新が必要になるので計画に搭載したい。一般の方の救急救命の講習の普及活動は、年間400名を目処に普通救命講習およびAEDの講習会を今後とも継続して実施していきたい。</p> <p>消防施設の整備は、消防庁舎の耐震の推進という事で一昨年の耐震診断で耐震性に問題があるという事になり、防災の拠点施設なので速急に耐震補強するのか、40年経っているので建て替えるのか検討し総合計画に掲載したい。</p>
栗崎部会長	<p>皆さんがご理解あるので、次に進みます。</p> <p><テーマ3 防犯 ></p>
露口主幹	<p>配布資料をもとに</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状の説明～ ・基本的な考え方について説明～ ・新しい計画の内容について説明～
池野本委員	<p>外灯の電気代は年間いくらかかっているのか？</p>
露口主幹	<p>外灯の中には色々な種類があり、年間にしたらかなりな額がかかっている。億近くいっているかもしれない。</p>
栗崎部会長	<p>美幌の詐欺の被害はないのか？</p>
露口主幹	<p>詐欺の電話はたくさんあるが詐欺の実害は出ていない。</p>
栗崎部会長	<p>特にないようなので、次に進みます。</p> <p><テーマ5 地域の情報化 ></p>
田村主幹	<p>配布資料をもとに</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状の説明～ ・基本的な考え方について説明～ ・新しい計画の内容について説明～
池野本委員	<p>光ファイバーの整備を民間業者にとあるが、NTTに豊岡を光ファイバーにする気はないか聞いたが、郊外は町を通じて話した方が良いと言われた。美幌町としてはどう考えているのか？</p>
田村主幹	<p>美幌町に光ファイバー網を整備する時に美幌町の町民としてこれだけ光ファイバーを利用する人がいますよと、とりまとめをして需要があるので整備をして下さいと、NTTにお願いした。いずれにしろ、需要がないとNTTとしても踏み込めない。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
佐久間委員	自治体が投資して整備している所もある。初期投資の他に維持管理の費用も発生する。お金を使ってどこまでするのかを話し合うのが総合計画。お金を掛けてでも広げていくべきと載せるのか、町がお金を使わなくても民間に強く要望していくと載せるのかを話し合うのがこの場かと思う。
池野本委員	うちの地域はISDN。そうなると皆、携帯の端末に向かっていく。私達の地域は世間では取り残されていると感じているのに、この場の皆さんと同じ目線でいけるのか不安。 美幌町としては光ファイバーをメインでいくのか、電波WI-FIを強調していくのか。両方を平行するのは難しい。
佐久間委員	光ファイバーにお金を掛けて整備しても10年後、電波が強くなっているかもしれない。どちらでも変わらないとなるかもしれない。
池野本委員	美幌町として光ファイバーに投資をして、10年後ぐらいに何で光ファイバーに多額の投資をしたのかと言われかねない。NTTがそこら辺の情報を良く知っている。今後の情報を聞いて、光ファイバーを何年か待って、電波の整備をするなども良いと思う。
佐久間委員	他町村で整備をしているところは、インターネットがただ繋がればいいと言うような整備の仕方ではない。 整備した上で全戸に情報発信をするなど、別の意味合いも持っている。何かへ利用する事を考えないと、整備の意味がない。
栗崎部会長	このテーマはこれでよろしいですね。 <テーマ6 防災 >
田村主幹	配布資料をもとに ・現状の説明～ ・基本的な考え方について説明～ ・新しい計画の内容について説明～
池野本委員	防災グッズの配付は何年計画ですか。
田村主幹	4年の計画です。 町で配付しているのは意識付のためで、配付個数は少なく、内容も完全ではない各家庭で足りない物を足して欲しい。
栗崎部会長	防災の意識も高まってきていると思う。 この項目はこれで良いですね。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
佐々木委員	もし大きな災害がおきた時に町が備蓄している資機材で対応可能ですか。
田村主幹	<p>現在の備蓄量では足りません。ですので、配付している防災グッズの中の説明書に、3日間分の食料を各家庭で用意するように案内しています。</p> <p>また、美幌には自衛隊がありますので、道を通じて要請をします。自衛隊にも備蓄があること、あと、民間とも協定を結んでおり、有事にはコープ札幌から食料や飲み物を提供してもらえます。アークスとも協定をする予定です。</p> <p>食べ物の備蓄は消費期限があるので、大量の備蓄は効率が悪い。民間協定を広めて対応したい。</p>
栗崎部会長	<p>旭小学校に行ったとき、玄関に海拔何メートルと書いてあった。災害の意識付としては良い試みと思った。</p> <p>役場など人の集まる場所に表示してはどうかと思う。</p>
志布委員	ハザードマップを見てもイメージがわからない。
田村主幹	<p>自治会長より話があり、危険箇所がどこか解らないとの相談であった。相談があれば個別に自治会の役員と一緒に現地に行くなど対応したいと思う。地域の方に知って頂くようにしたい。</p>
	＜テーマ8 陸上自衛隊美幌駐屯地 ＞
田村主幹	<p>配布資料をもとに</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状の説明～ ・基本的な考え方について説明～ ・新しい計画の内容について説明～
栗崎部会長	<p>意見がありますか。</p> <p>～意見無し～</p>
	<p>終了</p>